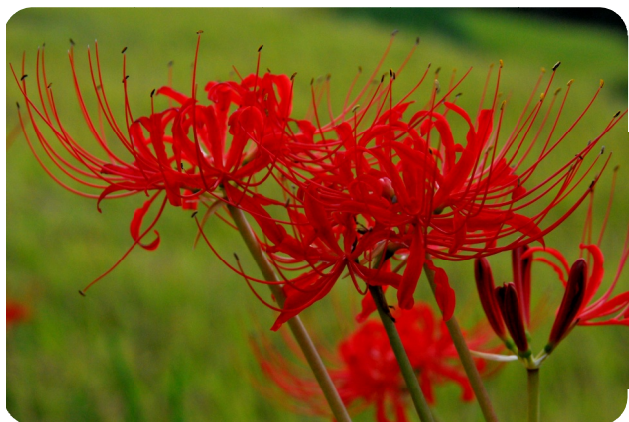


日本共産党提出の意見書採択

医療費助成の充実求め



彼岸花

「ひとり親家庭医療費助成制度並びに重度心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書」を9月議会に日本共産党が提出し、賛成多数で採択されました。
また、えんど久子市議は一般質問でも充実を求めました。

国が地方にペナルティなんて

この医療費助成制度は、全国全ての都道府県で実施をされていますが、県と市が負担して実施しており、国は予算を出していません。そのため、地域により格差があります。国が負担するどころか、窓口での医療費の立替え払いが必ずやらない現物給付方式を実施した自治体に対し国は、国民健康保険に対する国庫支出金を減額するというペナルティを課しています。このようなことはやめさせましょう。

国の施策で医療費助成を

意見書で二つを国と県に求めました。「窓口での支払いを要しない現物給付方式とする施策を講ずること」「現物給付方式を実施した場合の是正を図ること」

賛成多数で採択

かつては共産党提出の意見書には内容を問わず反対していた自民党や公明党の会派をふくめ、賛成を得ることができ採択となりました。しかし、自民系の新創世会（江藤・野口・黒木・長野の各議員）と市民みんなの会（国実議員）は反対でした。

日本共産党は国に働きかけ

ひとり親家庭や障がい者の生活は大変です。立替え払いが必要な現物給付方式での国の施策としての実施を求め今後話し合いを持ちます。ともがんばります。日本共産党市議団は10月13・14日に上京し、この件を含め厚労省などと話し合いを持ちます。

別府市議会のホームページで本会議の映像を見ることが出来ます。ぜひご覧下さい。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.445

2010.10.7.

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>